

第31回： 生き物から水環境を見る

開催日： 1997年2月3日～4日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 水辺の保全・修復・創造には、水質のみならず、藻類、底生動物、魚類など、そこに棲む多種多様な生き物の営みを知り、かれらが語りかけてくる言葉に耳を傾けることが必要です。それには、生き物への共感やまなざしを持つと同時に、分類や生態などの専門的知見を積み重ねていくこともまた必要です。今回、微小な藻類からはじまって、生態系の頂点に位置する鳥類までの幅広い視点から水環境を検討することで、水環境を総合的に理解できるよう企画しました。同時に国や地方自治体などの取り組み状況を知り、今後の参考になればと考えています。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 付着藻類から水環境をみる（福島悟／横浜市環科研）
- プランクトンから水環境をみる（一瀬諭／滋賀県環衛セ）
- 水草から環境をみる（角野康郎／神戸大学）
- 底生動物から水環境をみる（谷田一三／大阪府大・総合教育）
- ホタルと人と水環境（遊磨正秀／京都大・生態学研セ）
- 魚類から水環境をみる（細谷和海／水産庁中央水研）
- 鳥から水環境をみる（中村浩志／信州大・教育）
- 水環境と生物群集（応用生態学研／桜井善雄）
- 環境における取り組み（菅谷晋／環境庁水保局水質管理課）
- 建設省における取り組み（五十嵐崇博／建設省河川局河川環境課）
- 全国公害研協議会環境生物部会の取り組み（山崎正敏／福岡県保環研）
- 地方自治体における取り組み（1）（小田泰史／熊本県保環研）
- 地方自治体における取り組み（2）（和波一夫／東京都環科研）